

なんりよう 南稜通信

第4号

平成22年
12月発行
長野南高校

問い合わせ先
教頭 羽場 謙一
庶務 竹内祐美子
TEL026-284-8850
(学校代表)
TEL026-284-8851
(教務室)



養茶鍋和統

中学生の皆さんは、今自分の進路を選択する大切な時期を迎えていると思います。同じように高校でも進路選択の時期を迎えています。高校三年生は、その年齢が十八歳となり、二十歳の成人となるまであとわずかとなります。ですから自分の将来の仕事を考えてからの進路選択となります。看護師を目指す人は看護系の、技術者を目指す人は工学系への進学を選択します。いずれにしてもそう遠くない将来に、収入を得て経済的に自立しなければなりませんので、おのずと真剣な選択にならざるを得ません。合格した人、不合格となった人、次の道が見つからない人など、悲喜こもごもの教室です。

さて、先生たちが今一番心配しているのは、不合格という現実を受け入れざるを得ない人たちのことです。人間は壁に直面すると、学習する意欲が低下するものです。それはその人の選択の自由が失われていくことを意味します。職業選択の自由があっても、雇う側が求める意欲や学力が自分にないと、結果として職業は選択できなくなります。会社の利益が違えば、同じ仕事も会社ごとに同じ賃金が支払われるわけではありません。少し難しい言葉ですが、世の中は不条理の連続なのです。

皆さんの学校の校長先生もお話をされたことがあるかもしれません、江戸時代の話に「一杯の水」というの



熱心に勉強している様子

念のため

があります。地方から二人の若者が仕事を求めて江戸に出てきたところ、驚いたことに江戸では「水」を売っていたのです。一人の若者は「江戸では一杯の水を飲むにも金がかかる。こんな所では住むことができない」と故郷に帰ってしまいます。しかしもう一人の若者は「江戸では一杯の水も商売になるのか」と喜んで江戸に留まったというものです。水一杯から、一人は絶望を感じ、他方の若者は希望を感じたという話です。不条理に直面した時に、絶望を感じるか、希望を感じるか、その選択を迫られることになる皆さんが今なすべきことは、やはり学習だと思います。学ぶ意欲がある人には生きる力が宿ると私は考えています。「何で勉強するのか」と問われたら、私はいつもこう答えることにしています。「念のため」。つまり、不条理に常に備えておきなさいということなのです。そうすれば人生のたった一度のことであっても、外からチャンスが転がり込んでくることもあるのです。

皆さんの中で、就職を選択した人は、義務教育を終えたことを誇りに職業人として頑張っていると思います。さらに学ぶ場を求めて高校進学を希望する人は、わが長野南高校も選択肢のひとつに入れて欲しいと思います。本校は後期選抜とともに、前期選抜も行ないます。不条理への前哨戦と位置付け、果敢に挑戦してくれることを願っています。

充実の補習



進路指導主任 窪田和恵

本年度の三年生の特徴的な取り組みは、補習の充実と強化でした。近年、大学は学校数の増加と少子化に伴い「全入時代」と言われ、選ばなければ誰でも入れるような時代になりました。しかし現実は大學生の学力低下、勉強についていけない学生の退学、就職難と厳しいものです。今、学ばべき時に基礎学力をつけておかないと、その先が大変になると、学年の先生方中心に五月から平日の朝・放課後・土曜日と多くの教科で補習を充実させ、また、平日も夜八時まで学校で勉強できるようにしました。そのため、生徒の進学に対する意識が高まり、

本年度のセンター試験受験者は百九十六名中百十六名と例年を大きく上回りました。十一月末からはセンター受験用の特別編成授業を組み、一月十五日(土)十六日(日)のセンター試験、一般試験に向けて頑張っています。

就職関係は、公務員一名合格(刑務官)、民間企業内定者は男子四名(中部電力・新光電気二名など)女子一名です。ニュースや新聞でも伝えられているように、就職は非常に厳しく、ハローワークやジョブカフェと連携を取りながら取り組んでいます。

進学・就職どちらの進路を選択するにしても絶対必要なのが基礎学力とコミュニケーション能力です。挨拶をする・人の話をしっかり聞けるというような基本的なことから始まり、学校での学習内容を復習して理解する事や、自分の考えを持ち、言葉や文章で相手に伝えられる能力が必要です。これは学校教育だけで身につくものではありません。家庭を含め、日常生活の中で意識して鍛えていく必要があります。



1学年 進路研修旅行 1泊2日東京へ

十一月十八・十九日に東京方面に進路研修旅行に行ってきました。今年度は、班別行動は行わず、クラス別とコース別の二本立てで行いました。

初日はクラス別に、大学と企業見学を行いました。四、六組のコースについていえば大学については時間も少なく、十分な説明を受けることができませんでしたが、後半の日経東京センターの見学は期待以上に新聞作成の過程、裏話が聞け、有意義なものでした。二日目は生徒さんの興味にあわせてコースの中をさらに分けて異なる学校を見学するという、きめ細かい見学を行うことができました。時間のないところでの見学でしたが、今後の進路実現の参考になるものと思います。

（一学年主任 春原史好より）



2泊3日沖縄へ 修学旅行 2学年

修学旅行は十一月十八日（木）～二十日（土）の二泊三日で沖縄に行きました。初日は、那覇空港からひめゆり平和記念資料館に直行し、平和セレモニーを行ってから館内を見学しました。夕食後ホテルで、ひめゆり学徒隊出身の宮良ルリさんの平和講演が開かれ、その恐ろしい体験談に皆聞き入っていました。この講演で命や平和の大切さを学ぶことができました。翌日は、朝からクラスごとに壕見学をし、その後六つの体験コースに分かれて沖縄を満喫しました。最終日は、「沖縄栄華の証」と言われている

首里城を見学しました。あつという間でしたが、亜熱帯の自然や暮らし、文化に触れ、沖縄の地域性を学ぶことができました。たくさんの思い出を残し、充実した修学旅行となりました。【生徒 稲玉理子（厩代中卒）より】

少しの努力が・・・

整美委員長 小池美紀（樞花中卒）

整美委員会では、紙パックとペットボトルのキャップを回収しています。夏場は、飲料の消費量が多く、洗うのが大変でしたが、一年間を通して紙パックが四十二キロ、キャップがワクチン八人分に相当する六千五百八十四個回収することができました。紙パックは、隣の下永鉋小学校へ、キャップは千曲ライオンズクラブへ引き渡しました。少しの努力が地球のエコにつながり、また、地域との交流もできたので、とても良かったです。

自ら挨拶を

新生徒会長 遠藤可奈子（川中島中卒）

私が力を入れていきたい活動は、二つあります。一つ目は、「挨拶」です。今の長南は、友人同士で挨拶できても、地域の方や来賓の方、先生に自分から挨拶する姿は少ないです。一つ目は、「ゴミの分別」です。長南はゴミの量が多く、去年一年間では可燃ゴミだけで七十～八十キロ出しています。この二つのことは、社会に出てからもとても重要なことなので、企画を考えて徹底していきたいです。長南は、他校と比べたら、まだまだ歴史が浅いです。後輩に残せる何か礎ができたらいなと思います。また、地域の皆様には、統廃合問題でたくさんのお力をお借りしました。そして、今の長南、私たちがいます。感謝の気持ちを持って、少しでも恩返しができるように頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

ハンドボール部 長野県新人体育大会



男子一位 女子三位

男子部長 飯島航（厩代中卒）

私たちは、十月に行われた大会に出場し、日々の練習のおかげで優勝することができました。また、来年の一月には選抜大会長野県予選があり、北信越大会・全国への出場を目指し、精一杯頑張りますので、応援をよろしくお願いします。



女子部長 西野まなみ（厩代中卒）

部員六人、助っ人一人で大会に挑みましたが、十分な体制でなかったため、満足する結果ではありませんでした。この悔しさをバネに一月に行われる大会では北信越大会を目指し、必死で練習に励みたいと思います。応援宜しくお願いします。

薬物乱用の講話

身近にせまる薬物乱用について、「長野ダルク」代表の竹内さんにお話いただきました。覚せい剤などの恐ろしい薬物についてはもとより、睡眠薬や痛み止めなど市販



薬の乱用、また喫煙によるニコチン依存についてなど私たちの周りにも多くの危険が潜んでいることを改めて思い知らされました。本校では二年ぶりの企画でしたが、生徒たちは皆静かに聞き入っており、たいへん有意義な時間となりました。

部活報告

- ・アーチェリー部全国大会出場
- ・男子バスケット部 県大会出場

顧問 清水卓史

前述のとおり、ハンドボール部は長野県新人体育大会において、男子は優勝、女子は三位という成績を収めました。今年のメンバーは長野南高校の周辺の中学校の出身の生徒が多く、中学校での運動歴は野球部、バレーボール部、バスケットボール部、陸上部、剣道部、ソフトテニス部、ソフトボール部など、千曲市の中学校でハンドボールを経験している人以外のメンバーの活躍によりこのような結果になりました。一生懸命練習すれば、中学校での経験など関係ありません。進路に悩んでいる中学生諸君、ぜひ、長野南高校でハンドボール部に入部し、先輩たちと一緒に全国大会を目指そう！

長野南高校には四年制大学に進学しようと勉強に打ち込む生徒がいたり、ハンドボール部だけではなく、部活動に全精力をつぎ込んで学校生活を送っている生徒がいたり、いろいろな生徒が全力で学校生活を送っています。長野南高校はいろいろな部活動が頑張っています。高校へ行ったら部活動を頑張りたいという中学生がいたら、ぜひ、長南へ！